偶発症に遭遇! この対応を知っていれば落ち着ける

斎藤 理絵子先生 CDAC (Clinical Dental Anesthesiologist Club)

昭和大学歯学部卒業。昭和大学歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔科入局。 白鳥歯科インプラントセンター勤務。日本歯科麻酔学会 歯科麻酔専門医。 現在はCDACに所属し、フリーランスとして歯科麻酔業務に従事。

偶発症とは治療中に突然発生した予期せぬ異常事態のことを指します

いう最悪の事態を避けるために「急性心筋梗塞・狭心症」と「アナフィラキ





一 管迷走神経反射

血管迷走神経反射は、歯科治療に対して強 い不安や恐怖心を持つ患者での発現頻度が 高く、特に若年者と女性、痛みを伴う処置で 発症しやすいです。

事前の医療面接で、「歯科治療に対して恐 怖心がある あるいは 痛みに弱い などの理 由で血管迷走神経反射の既往が疑われる患 者さんに対しては、亜酸化窒素(笑気)吸入鎮 静法や静脈内鎮静法を併用して歯科治療を 行うことで、偶発症を未然に防ぐことが可能 になります。静脈内鎮静法は、過換気症候群 を未然に防ぐためにも有効です。

もし血管迷走神経反射に遭遇してしまっ たら、充分な酸素・補液投与、仰臥位での下肢 挙上(図3)を行います。頭部低位は心機能、呼 吸困難頭蓋内圧を悪化させる可能性がある ので注意が必要です。(図4)

徐脈を伴う血圧低下を認めたときにはア トロピン硫酸塩0.5mgを静脈投与します。反 応しない場合はエフェドリン塩酸塩4mg~ 8mgを併用してください。基本的には当日の 治療は中止すべきです。しかし血管迷走神経 反射以外の病態が存在せず、反射も軽症で完 全回復している状況であれば処置継続を試 みます。しかし、心原性失神やてんかんなど が隠れている場合もあり、血管迷走神経反射 と断定できない場合は、循環器科や脳神経外 科などで精査を勧めてください。



急 性心筋梗塞・狭心症

心不全の原因となる疾患の中でも、より緊 急性の高い疾患が急性心筋梗塞・狭心症で す。突然強い胸痛を訴え、冷や汗、呼吸困難、 嘔吐、めまいなど様々な症状を訴えます。血 圧は急激な上昇もしくは低下を来し、対処が 遅れると失神、心肺停止に至る疾患です。

このような症状があれば、モニターによる 1-2分毎のバイタルチェック、酸素投与を行 います(可能であればリザーバーマスク 10L/minで投与)。ニトログリセリン0.3mg錠 剤を舌下投与もしくは、ニトログリセリン(ミ オコール)スプレーを口腔内に1プッシュを行 います。続いて、バイアスピリン162~32mg を噛み砕いて内服させます。上記の薬は、狭 心症の既往がある方は、常備薬として持って いるので、事前に確認しておく必要がありま す。狭心症では薬が著効し症状が緩和されま すが、急性心筋梗塞の場合は、狭心症より症 状が強く、持続時間も長くなります。広範囲 の心筋梗塞ではショック状態に陥る場合も あります。血圧低下があれば臥位にして下肢 挙上をし、可能であれば急速輸液を行うのも
 有効です。

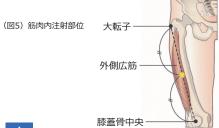
病院への到着が遅くなるほど、致死性の不 整脈に移行する可能性や、壊死する心筋の範 囲が増える可能性があるため、このような症 状が疑われたら、直ちに救急車を要請し高次 医療機関で対応することが大切です。

ナフィラキシーショック

医薬品などのアレルゲンに対する急性I 型アレルギー反応により、蕁麻疹などの皮膚 症状、嘔吐や腹痛などの消化器症状、頻脈や 血圧低下などの循環器症状、息苦しさなどの 呼吸器症状を呈する「過敏症」がアナフィラ キシーで、これらの症状が増悪した場合、意 識混濁などのショック症状が進行し、死亡す ることもあります。あらゆる薬剤で発症の可 能性があり、複数回、安全に使用できた薬剤 でも発症する可能性があります。アナフィラ キシーショックの第一選択薬であるアドレ ナリンは歯科医院に備えるべき薬剤であり、 有事の際の連携をスタッフ間で事前に準備 しておくことが大切です。

皮膚症状に限らず患者の容態が変化した 場合は、確定診断を待たずにアナフィラキ シーを疑い、直ちに薬剤投与を中止し、アド レナリン0.3mg(成人)を準備します。

アナフィラキシーを疑った場合は、ためら わずにアドレナリン標準量0.3mg(成人)を大 腿前外側部に筋肉注射します(図5)。同時に救 急車の要請と酸素投与も行います。アナフィ ラキシーショックは1度おさまっても再度発 症する可能性もあるため、ためらわず救急搬 送をします。



まとめ

偶発症の対応を書いてきましたが、全身偶 発症は予防が最も重要です。そのためには、 患者さんの既往歴や内服薬の把握が大切で す。しかし、一番危険なことは、全身疾患があ るにもかかわらず未治療であることです。歯 科医院での術前モニタリングによって、高血 圧や不整脈などの全身疾患が発見されれば 事前にその治療を優先することも大事です。 偶発症による死亡を減らすことはもちろん、 患者さんが健康で長生きできる期間が長くな ることの助けになればいいと思っています。